



河川改修の現状と課題

遠藤 宏司 議員

緊急的な応急対応は
完了している

町 長

7月豪雨後の現状
豊田地区の河川改修の進捗状況は、今年の7月豪雨の水位でも地区の水没や断水が起きないようにしたのか。
町長 緊急的な対応策として大型土嚢の設置を11月5日に完了した。今回の水位でも溢水しない対応と聞いている。
五十沢川のバックウォーリー
ター氾濫による今宿地区の水没を防ぐ対策は、



被害が大きかった豊田地区

町長 管理者は県であり堤防のかさ上げによる氾濫防止対策を要望している。県は現地調査をしているので、年度内には方向性を示してもらおう。
金川や下の川、川端地区の内水氾濫による水没を防ぐ対策は、
町長 横山下宿地区は、流雪溝ポンプを利用することで迅速な排水ができるよう補正予算を計上している。川端地区は、国土交通省との協議、調整が必要なので今後も粘り強く取り組んでいく。



7月豪雨時の支障木の様子(横山下河原)

今後の課題
豊田地区の大型土嚢設置で、水道の断水被害を回避できるようにした。うだが、このことを広く町民に知らせるべきでは。町長 豊田地区をはじめ、周知していく。
大規模な洪水が今後も頻繁に起こると考えれば、大型土嚢の設置は対症療法的なもの。抜本的な対策が必要になってくると思うが、国交省と話し合いをしたのか。

町長 水害は今後も起こりうるものと考えられる。豊田地区の築堤や、流下断面を確保する河道掘削、支障木の伐採などしっかりと要望していく。
支障木の伐採は来年3月まで完了すると聞く。今後は川底の土砂の浚渫を要望する考えは。
町長 下河原周辺の浚渫はやるか聞いている。駒籠、大浦あたりも予定しているか聞いている。

町の考えを問う

5 議員が一般質問

遠藤 宏司 議員

◆河川改修の現状と今後の課題について

9ページ

二藤部 冬馬 議員

◆若手の定住移住を促していく必要があるが、今後の具体策は

10ページ

小玉 勇 議員

◆7月豪雨の復旧は完了したのか
◆危険家屋の今後について
◆入札制度をどう改革したのか

11ページ

村形 昌一 議員

◆古関裕而や森義八郎に光をあてる時ではないか
◆時代に合った交通安全対策を

12ページ

大山 二郎 議員

◆入札制度改革及び談合事件について
◆町長の初心を問う

13ページ



議場にもアクリル板を設置しました

一般質問とは…

大石田町の様々な課題等について、議員が町に考えを聞くことを言います。

質問内容は議案とは関係なく議員が自由に決めます。議席は対面式になっており、町長と向かい合い質問します。議員1人当たりの持ち時間は1時間です。